

津市立ハツ山小学校だより

この学校にわたしたち

2023. 10. 13

N039

目は心の窓～白山こども園の運動会を見学して…



10月7日(土)、白山こども園の運動会を訪ね、4歳児の演技や園児・職員の様子を見学させていただきました。4歳児のリズム「バルーン」は演技が工夫されていてよく練習をされているなと思いました。5歳児ではかけっこや親子対抗の玉入れに加え、全員リレーがあり、5歳児がオープンコース(コースを超えて内側を走ること)をしっかりと理解し、リレーを行っていて驚かされました。園児は真剣な眼差しで種目に取り組んでいて素晴らしいと思いました。運動会の最後に5歳児の園児は園長や副園長からピカピカのメダルをかけてもらっていました。1人1人メダルをかけてもらうときの嬉しそうな表情が印象的でした。また、最後にメダルをかけたままトラックを一周したのですが、本部テントに向かって「ばく、頑張ったよ～」と言ったり、メダルを見せてくれる園児がたくさんいたりして、園児の満足感・達成感を感じ、太陽をバックに園児が輝いて見えました。今回、私がもう一つ気づいたことがあります。それは保育士の眼差しでした。「目は心の窓」とは心理学者アイゼンク・Hの言葉です。演技前や演技中はどの保育士も1人1人の園児が安心して演技ができるようにまるで母親のような慈愛溢れる温かな眼差しで園児を見守っていたことです。そして、最後の種目であるリレーが終わった後は勝ったチームの保育士も負けたチームの保育士の目には涙が光っていました。それは、1人1人の園児の頑張りを微笑ましく思い、園児の成長を感じた歓喜の涙だったのでしょ。今回、運動会を少し見させていただきただけですが、こういった園児の頑張りの保育士の思いをしっかりと引き継いだ上で小学校教育はなされるべきだと強く感じました。

現在、白山こども園の園長・職員と園児・児童の様子を見合ったり、その思いや願いについても話し合ったりする機会(合同ワーク)を少しずつ開催し、お互いの教育感・保育観などを学び合っています。園から学校が児童にとっても教師にとってもスムーズに連動しあえるようこれからも学びあっていきたいと思っています。